

# 県酪だより

K E N R A K U D A Y O R I

2024  
**10**  
vol.322

## 福島県乳牛改良推進協議会主催 令和6年度毛刈り講習会を開催



## TOPICS

- ・ 福島県乳牛改良推進協議会主催牛群検定実践研修会開催… ③
- ・ 福島県酪女性部やまびこ会主催視察研修会開催 …………… ④

福島県乳牛改良推進協議会

令和六年度  
毛刈り講習会



九月二十日(金)に福島県家畜市場(本宮市)において、福島県乳牛改良推進協議会主催(会長 岩谷金良)の毛刈り講習会を開催しました。ストリートマンキャトルケアサービス 高橋直人氏を講師に迎え、毛刈り用の教材牛は福島県ホルスタイン改良同志会役員の皆様にご協力いただきました。

当日は、高校生や酪農後継者、酪農関係団体より六十八名の参加があり、福島県ホルスタイン改良同志会の皆様の全面協力のもと、盛会に開催することができました。

高橋直人氏は、全国的に活躍されている方で、午前中は、最近の牛作りについてや毛刈りの方法について話をしてもらい、午後から、経産牛・未経産牛の1頭づつ毛刈りのお手本を見せてもらいました。牛の骨格構造の作り、その骨格を把握した上での毛刈り方法を細かく説明してもらいました。プロの毛刈りを見ることができ、普段毛刈りをしていない方もとても勉強になったと思います。

その後、毛刈り体験希望者には、四つのグループに分かれてもらい、1グループ毎に未経産牛1頭を使い、毛刈りの体験をしてもらいました。どのよう



毛刈りの研修

点はどこかを学ぶことができました。部位によって、毛の生え方が異なることから、バリカンの当て方に苦戦している方もおりました。

忙しい時期でしたが、昨年度に引き続き、毛刈り講習会を開催することができました。このような研修会が、酪農後継者や学生にとつて、酪農に興味をもってもらおうきっかけの場となればと考えております。今後も、多くの方が参加できるように研修会を企画していきますので、ぜひご参加ください。



修了書授与  
(代表 岩瀬農業高等学校 遠藤善朗さん)



岩谷金良会長の挨拶

福島県乳牛改良推進協議会主催

## 牛群検定実践研修会を開催



加藤尚久さんの牛舎



講師 全酪連 永井先生

福島県乳牛改良推進協議会主催で、令和6年9月10・11日に牛群検定実践研修会を開催しました。両日とも、講師には、全国酪農業協同組合連合会大阪支所技術顧問 永井秀樹 氏をお迎えし、関係団体職員等30名が参加しました。初日は牛群検定実施農家の加藤尚久さんの牛舎を視察し、翌日は郡山市日和田にある福島県農業総合センター大会議室において、「牛群検定成績表の見方」と題し講演頂いた後、グループワークを行いました。

昨年度より、牛群検定普及促進を図る為、福島県補助事業を利用して、牛群検定に関する研修会をおこなっています。この研修会は、関係団体の指導者向けに実施しており、牛群検定を実施している方から5名を牛群検定モデル農家と位置づけ、牛群検定データや必要なデータを提供いただき、研修会で利用させていただいております。

今回は、現場職員が牛群検定を利用できるようにする為の実践研修としており、実際に農場のバーンミーティングを行い、その牧場の牛群検定成績表からわかる良い点・問題点をグループ毎に話し合い、改善案等をモデル農家さんへ提案するという形で発表しました。

牛群検定に関する知識がある方ない方それぞれでしたが、牧場でのバーンミーティングを行った後、その牧場に関する研修会を行うことで、より分かりやすいものとなりました。グループワークでは、自分が感じたこと等を発言できるような場となり、最終的にはグループ毎に改善案をまとめてもらいました。

今回の牛群検定研修会では、牛群検定モデル農家5戸のうち、加藤尚久さんにご協力いただき、様々なデータを提供いただきました。加藤牧場からは、乳質に関して話を聞きたいとお言葉をいただいたことから、乳質メインでの研修会をしています。

ご協力いただきました加藤牧場の皆様、ありがとうございました。



加藤尚久さんの牧場にてバーンミーティングを実施



研修会

## 福島県酪女性部やまびこ会 視察研修会開催



福島県酪女性部やまびこ会（会長 斎藤麻貴子）は、9月13日（金）に福島県相馬市の有限会社 片平ジャージー自然牧場と伊達市霊山町にある、まきばのジャージー本店にて視察研修会を開催いたしました。天気予報では雨もちらつく予報でしたが、お天気に恵まれ9月中旬とは思えないほどの暑さとなりました。

片平ジャージー自然牧場さんは、ジャージー牛と和牛の放牧をされていて、震災後の復興のお話やアイスづくりを始めたきっかけや苦労話など興味深いお話を聞かせて頂きました。会員の皆さんからはたくさんの質問もあり、充実した研修会となりました。また、片平牧場さんのジャージー牛乳から作られたアイスは、テレビでも紹介される人気のアイス屋さんで、説明を受けた後に食べたアイスは絶品でした。

研修会の後は、りょうぜん紅彩館に移動し昼食と懇親会となりました。久しぶりの再会に会話もはずみ、温泉に浸かって癒しの一時を過ごすことができました。



# 購買畜産課

## 令和6年10～12月の牛用飼料価格について

令和6年度第3四半期（令和6年10月～12月）の牛用飼料（配合・哺育）につきまして、下記のとおり価格改定を致しますのでご案内申し上げます。

記

改定額（令和6年7～9月期対比）

**（１）牛用配合飼料 トン当たり 3,900円値下げ**

※全酪連の全国発表は4,200円の値下げ改定ですが、これとは別に全酪連として  
流通経費上昇による値上げが300円あり、最終的に3,900円の値下げ改定となります。

**（２）牛用哺育飼料 トン当たり 17,000円値下げ**

原料情勢等につきましては、以下のとおりです。

主原料である米国産とうもろこしは、9月12日の米国農務省の需給予想において、2024年産の生産量は3億8,574万トン、前年比99.0%、単収は183.6ブッシェル/エーカー、総需要量は3億8,013万トン、期末在庫は5,225万トン、在庫率は13.75%と発表されました。

シカゴ定期は米国のとうもろこしの生育が順調に推移していることから、値下げで推移しています。

大豆粕は、米国・ブラジルでの豊作見込みからシカゴ定期は下落しています。また、円高に伴い相場は弱含みで推移しています。

糟糠類については、グルテンフィードは国内スターチメーカーの稼働は落ち着いているものの、中国産の発生が堅調で、需要は低調なことから相場は弱含みで推移しています。ふすまは引き続き

発生量と需要量が均衡していることから、相場は横ばいで推移しています。

脱脂粉乳は、オセアニア産は乾乳期のため供給量が限られているものの、中国、東南アジアの引き合いが低調であることに加え、為替円高により原料価格は軟調に推移しています。

海上運賃については、現状、石炭や鉄鉱石の需要は旺盛ですが、船舶の需給も安定しており市況はやや下落傾向にあります。

為替相場は米連邦準備制度理事会による利下げの期待感や、日銀による政策金利の引き上げによる影響から日米金利差が縮小し、円高ドル安が進行しています。

以上

### 第23回東和ふるさと祭りに 出店しました

9月7日(土)に東和文化センター駐車場で「第23回東和ふるさと祭り」が開催されました。

東和畜産振興会出展ブースにおいて、牛乳・乳製品の予約注文分や当日販売分を販売。地域の酪農家さんなどのご協力もあり、完売することができました。



## 全酪連の小窓 10月号 ～寒冷対策はいつから～

夏の暑さも終わり、肌寒くなり過ごしやすくなりました。これからは寒さ対策をしていくタイミングになります。さて、いつから対策を始めなくてはいいと思いますか？今月は子牛の寒冷対策についてお話しします。厳しい相場になりますが、少しでも経営の糧になればと思います。

### 子牛にとって快適な環境温度は？

- 3週齢までの子牛：15～25℃  
→ルーメンが未発達（発酵熱が無い）
- 3週齢以降の子牛：5～25℃  
→ルーメンが発達してくる

- ▶ 上記の温度域外では、体温維持のためにエネルギーをより消費しなければならない＝**エネルギー要求量が増加！**
- ▶ **寒冷対策が必要！！**

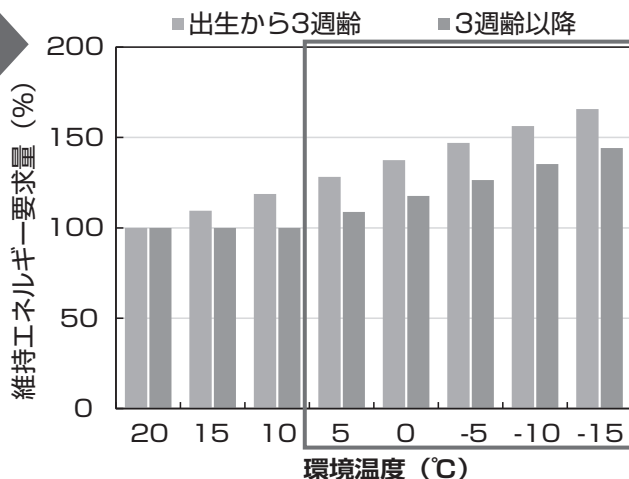
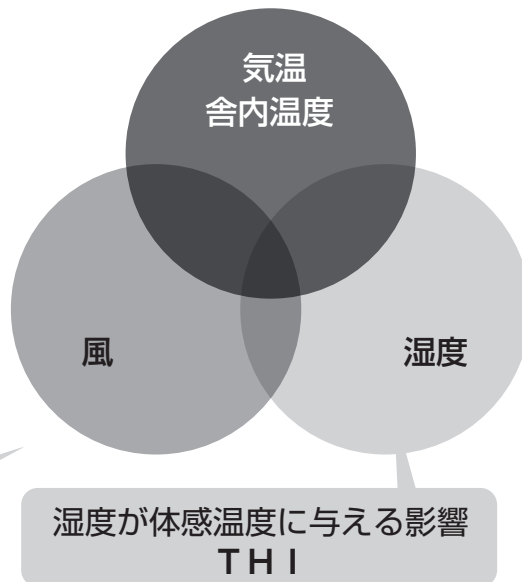


図 20℃を100とした維持エネルギー要求量  
資料：NASEM2021を改変

### 子牛の体感温度

子牛の体感温度は主に気温・風・湿度に左右されます。これらが合わさり寒冷ストレスや暑熱ストレスの度合いが変化します。

また、分娩状況や体の汚れ具合・濡れ具合などの子牛の状態によっても変わるため、子牛を取り巻く環境の変化を管理面に対応するとともに、子牛の状態にも目を配る必要があります。



風が体感温度に与える影響  
**体感温度 = 気温 - 6√風速**

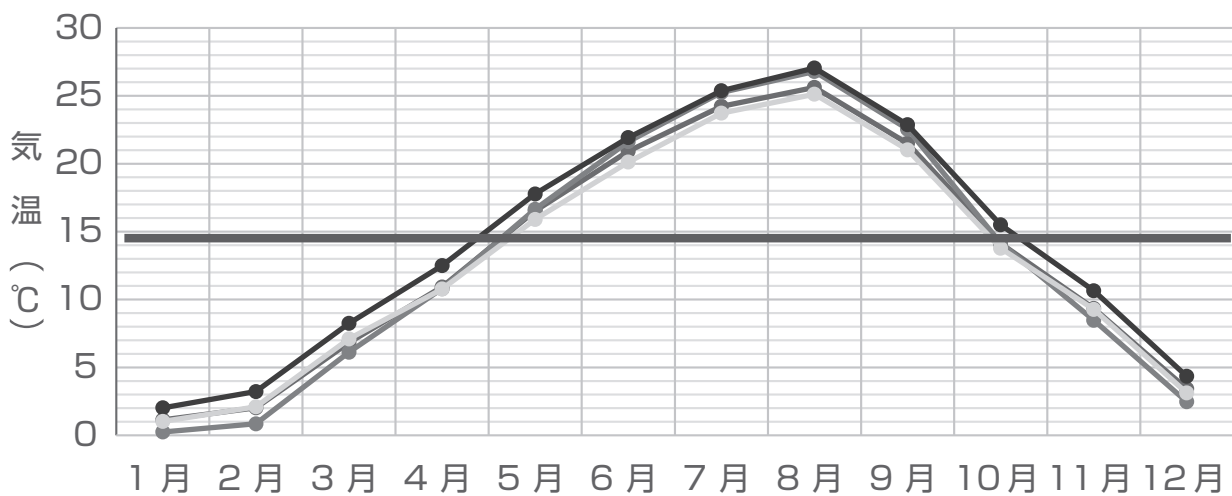
湿度が体感温度に与える影響  
**TH I**

風速が1 m/s程度であれば、気温と同レベル、風速3～4 m/s程になると気温から-2℃ほど寒く感じます。

THIが72を超えると暑熱ストレスを感じ始め、乳量などの影響が出てきます。

## 寒冷対策はいつから？

直近過去4年の各地点での平均気温



● 郡山 ● 若松 ● 福島 ● 白河 図：気象庁HPより

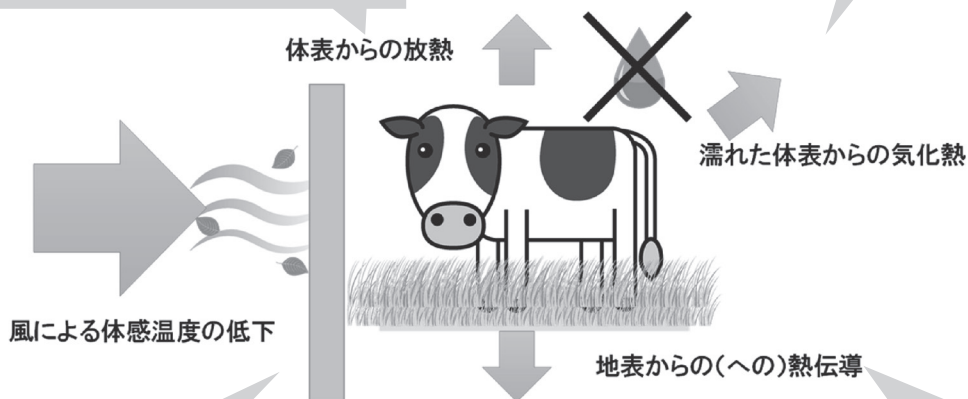
3週齢までの子牛の快適な環境気温の15℃を下回るのは県内では10月からになります。今月から早めの寒冷対策をお勧めします。また15℃を上回る5月頃までは寒冷対策が必要になります。寒冷対策の例を下に示しましたのでご活用ください。

### ■ 子牛の保温

- ▶ カーフジャケットの着用：子牛を暖める
- ▶ ヒーターの活用：子牛を暖める、舎内を暖める
- ▶ 子牛の体表を汚さない

### ■ 子牛をしっかりと乾かす（出生直後）

- ▶ 母牛によるリッキング
- ▶ タオル等を用いて、しっかり拭き上げる
- 子牛を濡らさない



### ■ 防風

- ▶ 直接、風が当たらないようにする
- ▶ 隙間風を防ぐ

### ■ 十分な敷料：体温を逃がさない

- 清潔な敷料・こまめな敷料交換：子牛を汚さない、濡らさない

給与方法や給餌メニューでご不明点ありましたら、全酪連スタッフや県酪職員へご相談ください！

ZENRAKUREN



# ZENOAQ コーナー Vol.238



## 駆虫をするメリット ～牛も痒くちゃ寝てられない。 駆虫で得られる利益とは？ パート2～

〒963-0196  
福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1  
日本全薬工業(株) 福島営業所  
TEL0120-452-464 FAX0120-661-255

前回のゼノアックコーナーでは、牛の寄生虫のうち、ダニやシラミなどの外部寄生虫の紹介とそれらを駆虫することによるメリットのお話をしました。

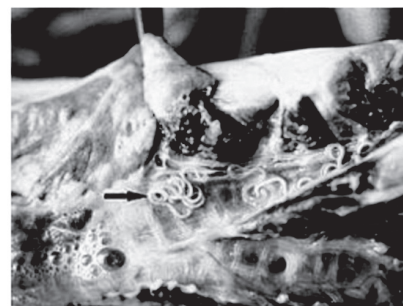
今回は、なじみが少ないかもしれない内部寄生虫の話題提供をしたいと思います。

### 内部寄生虫とは

内部寄生虫とは、文字通り牛の体内に寄生する線虫などをさし、主な寄生虫には、

- ・ 第四胃・・・オステルターグ胃虫
- ・ 小腸・・・クーペリア、ネマトジルス、毛様線虫、牛鉤虫
- ・ 盲結腸・・・牛鞭虫
- ・ 牛肺虫

が寄生し、牛の養分を摂取しながら生きています。これだけでも駆虫する効果がありそうです。



牛肺虫

### 一般線虫の感染経路と生活環



図のように体内の線虫が卵を産み、それが糞と一緒に外界へ排泄され、幼虫が右の写真のように植物の節についた朝露と一緒に牛の体内に侵入し再感染します。

一般的には放牧している牛が上記のように感染すると思われがちですが、北海道から戻ってきた育成牛が寄生虫に感染していると、その育成牛の糞から、もともといる牛への感染が成立することとなります。



## 消化管内線虫による被害

- ▶軽度～中程度の感染→わかりにくい被害
- ・栄養の横取り、食欲低下
  - ・増体重の減少
  - ・初回発情時期および初回受胎時期の遅延
  - ・肉質の低下
  - ・免疫力の低下などなど

- ▶濃厚感染→臨床症状を伴う
- ・栄養失調
  - ・重度の下痢
  - ・死亡など

牛での寄生虫感染のリスクは飼養形態の違いによって大きく異なり、舎飼い牛に比べると、放牧牛の方が寄生虫感染の機会が一般に多い。しかし特定の寄生虫病は飼育密度の高い畜産農家で多発することも多い。また、軽度から中程度の感染はわかりにくい被害で、必ずしも明瞭な臨床症状を示さない亜臨床状態の牛でも、駆虫により大きな経済効果が生まれることも証明されています。

## 内部寄生虫を駆虫するメリット ～駆虫による採食行動時間の変化～

駆虫 → DMI増加20% → 生産性向上

測定項目	駆虫	未駆虫	差
採食行動時間	8h 56m	7h 11m	1h 45m
乾物摂取量	4.7 kg/日	3.9 kg/日	0.8 kg/日
放牧期間中D G	≥800g	650g	≥150g



Munchometer (採食行動回数測定器)

放牧牛において、駆虫後の採食行動を測定 (Forbesら)

採食行動回数測定器を使い、実際に駆虫をした牛としていない牛の放牧育成牛の採食行動時間を測定した試験があります。

これによると、採食行動時間は駆虫した牛はしていない牛に比べ、1時間45分長く、乾物摂取量も0.8kg増えました。それに伴い、放牧期間中の日増体重も150g/日の増加という生産性の向上の報告があります。

農場のメリットは、採食量が増え、結果増体が早ければ初回授精月齢を短縮することができ、乳生産を1日でも早く始められることです。

放牧をしていなくても、預託牛が戻ってきたら牛群の感染予防のために積極的に駆虫をしましょう。

お問い合わせは、担当のゼノアック営業員をお願いします。 〇

参考文献：池田恵子（ベーリンガーインゲルハイムジャパン2016）  
堀井洋一郎（宮崎大学農学部2016）

### 令和6年度8月別支払乳価表

今月のプール乳価・補給金・集送乳調整金を含めた支払乳価は、130円13銭6厘で前年より20銭1厘上回る単価となりました。生乳取引価格については、令和4年11月1日から飲用向け及び発酵乳向け10円/kg(税抜)の値上げが、令和5年4月1日から学乳向け及び乳製品向け10円/kg(税抜)の値上げとなっております。また、令和5年8月1日からは飲用向け及び発酵乳向け、学乳向けが10円/kg(税抜)の値上げとなっております。さらに、令和5年12月1日取引分から乳製品向けのうち油脂分(バター向け及び生クリーム向け)の生乳取引価格について6円/kg値上げの期中改定となっております。

■東北全体プール乳代金 4,507,995千円 単価128.654円  
 ■内 福島県分プール乳代金① 530,601千円 単価128.654円  
 プール対象外乳代金② 36,233千円  
 (学乳向け・買取向け乳代金)  
 合計乳代金①+② 566,834千円 単価130.838円

項目	令和6年8月	前年同月	増減	前々年同月
プール乳価	128円803	128円637	0円166	108円936
補給金単価	1円025	0円995	0円030	1円143
集送乳調整金単価	0円308	0円303	0円005	0円358
合計	130円136	129円935	0円201	110円437

(注)上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

#### (東北全体8月)

用途別	販売乳量(ト)	日量(ト)	前年比(%)	シェア(%)	前年度シェア
飲用向け	25,000	806.0	98.2	70.0	68.6
加工向け	3,470	112.0	96.5	9.7	9.7
学校給食向け	690	22.0	84.6	1.9	2.2
発酵乳向け	5,946	192.0	89.6	16.6	17.9
生クリーム向け	486	16.0	99.0	1.4	1.3
チーズ向け	138	4.0	98.6	0.4	0.4
合計	35,729	1,152.0	96.2	100.0	100.0

備考 1) 買取乳量を除く

#### 団体別受託乳量の状況

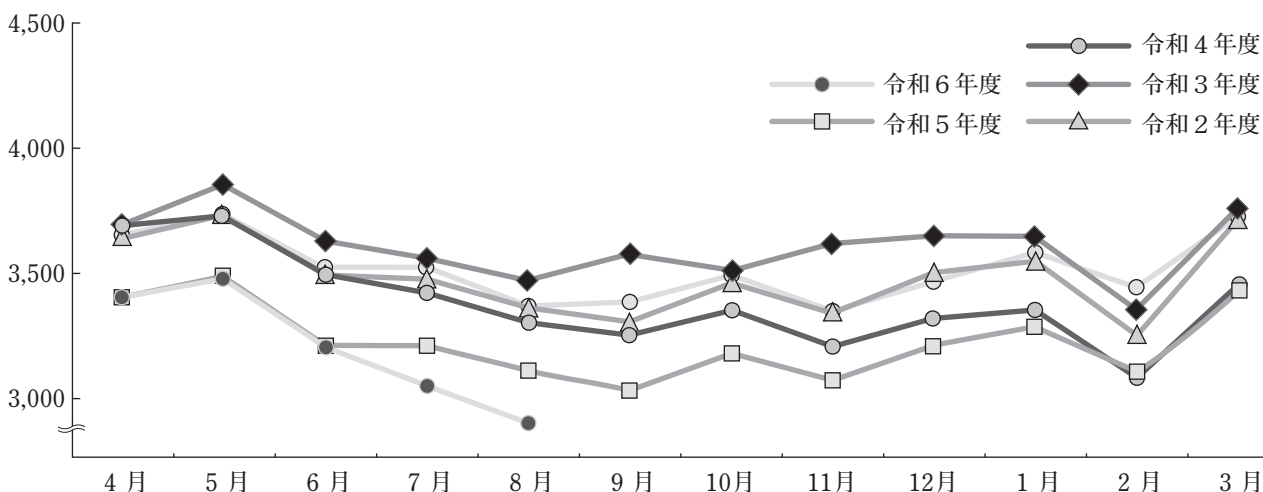
北海道：101.9%、都府県：96.8%

団体名	8月分		
	受託乳量(ト)	日量(ト)	前年比(%)
県酪協	2,981	96.1	95.6
全農福島県本部	1,351	43.6	99.3
合計	4,332	139.7	96.7
東北生乳販連	35,729	1,152.5	96.2
全国	548,667	17,698.9	99.8

#### 月別受託乳量 県酪協 (トン)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和2年度	3,642	3,739	3,495	3,482	3,363	3,310	3,458	3,341	3,505	3,549	3,268	3,723	41,874
令和3年度	3,693	3,859	3,629	3,599	3,564	3,486	3,578	3,515	3,619	3,652	3,353	3,760	43,307
令和4年度	3,691	3,733	3,494	3,434	3,305	3,255	3,354	3,210	3,324	3,355	3,088	3,456	40,699
令和5年度	3,407	3,492	3,217	3,217	3,117	3,037	3,185	3,070	3,235	3,298	3,155	3,454	38,884
令和6年度	3,405	3,480	3,206	3,058	2,981								
前年比%	99.9	99.6	99.7	95.1	95.6								

単位・トン



#### 令和6年度受託乳量の状況

令和6年8月の受託乳量は、県全体で前年比96.7%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が2,981ト、前年比95.6% (対前年同136ト減)、全農県本部は1,351トの対前年比99.3%

(対前年同10ト減)の実績でありました。

東北生乳販連の受託販売実績については、前年比96.2%となりました。

なお、全国の受託実績は対前年比99.8%となりました。

## 令和6年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

東北全体の用途向け販売数量は、前年比で飲用向けが98.2%、加工向けが96.5%、学校給食向けが84.6%、醗酵乳向けが89.6%、生クリーム向けが99.0%、チーズ向けが98.6%と全用途が下回って推移しました。引き続き、福島県産牛乳・乳製品の消費拡大にご協力をお願い致します。

令和6年度の補給金単価については、加工原料乳生産者補給金単価が生乳1キログラム当たり前年度比23銭引き上げの「8円92銭」、集送乳調整金を同3銭引き上げの「2円68銭」、総交付対象数量については、前年度比5万トン減の「325万トン」で決定しました。補給金単価と集送乳調整金単価を合算すると、前年度比26銭

上げの「11円60銭」となります。補給金単価の上げ要素としては、飼料費と副産物価格の高騰等、下げ要素としては搾乳牛1頭当たりの乳量の増加、乳牛償却費の減少があり、集送乳調整金の上げ要素としては、集送乳委託費の増加が挙げられます。総交付対象数量の算定に必要な「推定乳製品向け生乳消費量」は、国民一人当たりの乳製品の消費量について過去10年間のトレンドから算出されています。

なお、今月の酪王協同乳業（郡山工場）の生乳使用量は日量平均34.4トﾝ（前年比76.3%）で、本組合生産量の35.8%、県全体生産量の24.6%の処理量となりました。

### 1. 年次別・月別支払乳価一覧（補給金・集送乳調整金を含む）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和6年度	128.759	130.057	132.319	131.084	130.136								
令和5年度	120.673	121.861	122.643	121.705	129.935	133.579	132.503	131.554	128.815	130.032	130.533	127.295	127.594
令和4年度	109.973	110.973	112.420	111.282	110.437	112.872	112.484	120.128	117.186	118.965	119.149	116.514	114.365
令和3年度	110.502	111.609	113.060	111.724	110.197	112.507	112.537	112.319	109.640	110.594	110.503	109.010	111.184
令和2年度	108.959	110.268	113.694	113.625	112.257	114.269	113.489	112.845	111.265	111.109	112.190	109.876	111.986

### 乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

令和6年8月31日現在

地 区	酪農家戸数			乳 牛 頭 数									
	戸数	前年度戸数	前年比	育成	初妊	経産牛				合計	前年度頭数	前年比	1戸当り頭数
						乾乳妊娠	妊娠搾乳	空胎搾乳	小計				
県 北	戸 23	戸 27	% 85.2%	頭 371	頭 202	頭 178	頭 433	頭 602	頭 1,213	頭 1,786	頭 1,857	% 96.2%	頭 77.7
県 中	44	51	86.3%	212	123	190	383	566	1,139	1,474	1,615	91.3%	33.5
浜	6	7	85.7%	95	44	24	56	109	189	328	334	98.2%	54.7
県 南	31	33	93.9%	447	257	287	604	833	1,724	2,428	2,545	95.4%	78.3
合 計	104	118	88.1%	1,125	626	679	1,476	2,110	4,265	6,016	6,351	94.7%	57.8

地 区	月 別 分 娩 予 定 頭 数							販 売 乳 量				
	令和6年 9月	令和6年 10月	令和6年 11月	令和6年 12月	令和7年 1月	令和7年 2月	令和7年 3月	生乳 出荷 戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
	1日当り	1日1戸 当り	搾乳牛	経産牛								
県 北	頭 130	頭 116	頭 120	頭 109	頭 116	頭 109	頭 113	戸 19	kg 28,041	kg 1,476	kg 27.1	kg 23.1
県 中	117	100	89	107	95	77	111	44	23,117	525	24.4	20.3
浜	13	23	18	18	18	12	22	6	4,807	801	29.1	25.4
県 南	188	190	161	176	144	123	166	30	40,261	1,342	28.0	23.4
合 計	448	429	388	410	373	321	412	99	96,226	972	26.8	22.6

## 第347回 県酪協乳牛市場成績

令和6年9月12日開催

購買者数 28名（うち県外13名）

畜種	雌雄	成立数 (成立率)	最高価格 最低価格	平均価格 (前回比)	平均体重 (前回比)	平均単価 (前回比)
ET和牛	メス	19 (100)	294,000 69,000	223,632 (92)	98 (99)	2,286 (94)
	雄	35 (95)	400,000 165,000	277,657 (100)	101 (97)	2,744 (102)
乳牛	メス	4 (100)	13,000 1,000	6,000 (600)	56 (97)	108 (635)
	雄	60 (100)	61,000 1,000	31,633 (77)	72 (106)	442 (73)
交雑牛	メス	71 (100)	163,000 1,000	92,338 (81)	70 (96)	1,324 (84)
	雄	63 (100)	166,000 18,000	102,286 (93)	78 (101)	1,314 (92)
初妊牛		15 (100)	504,000 413,000	442,733 (133)	/	
搾乳用雌子牛		9 (100)	251,000 150,000	204,111 (94)	/	

価格：円（落札価格） 率・比：% 体重：kg

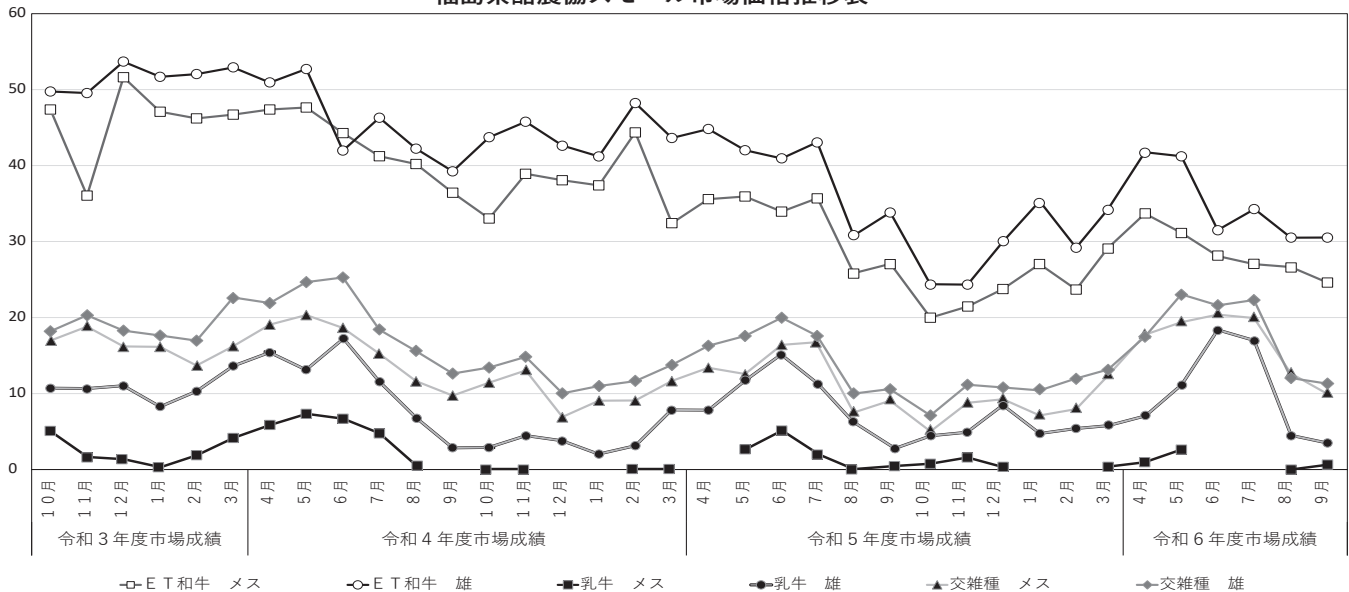
### 価格帯別分布表

（0は0.1～0.9万円、1は1.0～1.9万円、以下同様。尚、落札価格です。）

畜種	雌雄	価格帯(万円)																																								
		15<	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	~	36	37	38	39	40	41																
ET和牛	メス	2	1	1	1		1		1	1	2	3	3		2	1																										
	雄		1		1		1		1		1	5	5	6	1	5	1	2	3		1																				1	
乳牛	メス	0<	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24																
	雄		9	6	10	9	14	10	2																																	
交雑牛	メス	<0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24																
	雄		1	4	3	3	4	5	3	8	4	1	3	4	6	7	10	4	1																							
初妊牛	メス	<30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54																
	雄													3	3	2	2	2		2																						
搾乳用雌子牛	メス	<1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25																
	雄																																									

単位:万円

### 福島県酪農協スモール市場価格推移表



組 合 の 動 き 9 月

9月2日	東北酪農青年女性会議委員会	9月19日	東北生乳販連理事会
9月2日	辞令交付式	9月19日	臨床研究会
9月2		9月20日	酪農教育ファームスキルアップ研修会(東京)
～3日	酪政連東北ブロック役員研修会	9月20日	福島県乳牛改良推進協議会主催毛刈り講習会
9月7日	東和ふるさとまつり	9月24日	東北地区獣医師大会
9月7日	畜産農家経営危機突破生産者大会	9月24日	全酪連理事会
9月10日	福島県乳牛改良推進協議会主催	9月25日	獣医学術東北地区学会
～11日	牛群検定実践研修会	9月26日	第6回理事会
9月12日	乳牛せり市場	9月26日	監事と代表理事等との定期的会合
9月13日	福島県酪女性部やまびこ会研修会	9月26日	福島県牛乳普及協会主催料理コンクール審査会
9月17日	酪王協同乳業(株)取締役会	9月27日	シャインコースト(株)取締役会
9月17日	畜産関係団体連絡協議会知事要望会	9月30日	経営検討会
9月18日	令和6年度JA福島中央会常勤理事戦略研修会	9月30日	楽寿会役員会

理 事 会

第6回 令和6年9月26日

報告事項

- (1) 役員研修視察先（案）について
- (2) 明治ホールディングス(株)プレスリリースについて  
「神奈川新工場建設並びに生産体制再編に関するお知らせ」
- (3) 今後の日程について

令和6年度異動等辞令交付

◆新採用（令和6年9月1日付）

職 位	氏 名	新 任
嘱 託 職 員	堀 井 好	復興牧場設立準備室

## やまびこ会あいづ研修会 ～会津中央乳業工場見学～



やまびこ会あいづは地元の会津中央乳業の工場見学をしてきました。運よく、集乳車が到着し、私たちが搾った牛乳が工場のタンクに移されているところでした。二瓶専務から丁寧に説明を受けて、べこの乳の試飲をさせていただきました。

”べこの乳”は85℃で15分間ゆっくり殺菌。高温殺菌牛乳とは異なる保持式殺菌牛乳ならではの味とコクがありました。そして衝撃的だったのが”会津のべこの特濃もうひとしぼり”いわゆる特濃牛乳ですが、加工乳ではなく低温で水分だけを抜いて風味を損なわない製法※（RO）の生乳100%の特濃牛乳なんです。

普段飲んでいる高温殺菌の牛乳から順序よく試飲させていただき、最後は”もうひとしぼり”から作られるヨーグルト”会津の雪”を試食しました。工場見学が終わると、出来立てのソフトクリームを頂きました。ソフトクリームを食べながら酪農家と牛乳工場、消費者をマルシェなどを通してうまく繋いでいく場を設けていきたいという二瓶専務の熱い想いを耳に、私たちも日々の作業、安全で安心な生乳の生産現場を今一度再確認しながら頑張ろう！と誓った研修になりました。最後に今回の研修は6月に退職された雪野さんも一緒に和気あいの女子会研修となりました。

※RO製法：生乳に強い圧力をかけながら非常に細かい目の膜に通し、水分だけ取り除く製法（種類は成分調整牛乳）



# 酪王協同乳業×アカベコランド コラボ企画

福島県民のソウルドリンク「酪王カフェオレ」と福島県を代表する民芸品「赤べこ」がまたまたコラボレーションしました！

今回は人気商品の中から、酪王カフェオレ・酪王牛乳・農協牛乳・酪王いちごオレ・のむのむヨーグルトの超豪華5種類をモチーフにした「ぷかぷかあかべこ」です。押すとぴゅーと音がなり水にぷかぷかと浮く仕様で、サイズは約50mmと手のひらサイズなので全部並べても場所を取りません。プレゼントにしても喜ばれるとても可愛らしいデザインです。ぜひアカベコランドにてお買い求めください。

## 【商品情報】

発売日：10月7日(月)

販売先：アカベコランド、アカベコランドオンラインショップなど

価格：318円(税別) 350円(税込)

素材：PVC

サイズ：横50mm



福島県牛乳普及協会  
令和5年度  
**牛乳・乳製品利用料理コンクール**  
**福島県大会入賞レシピ**



福島西高等学校  
松川 美翔さん

肉巻きのトマトソース添え



●●● 材 料 ●●●

(材料:4人分)

トマトソース	肉巻きご飯
・トマト(調味料) … 中2個	・ご飯 …………… 240g
・酒 …………… 大さじ1	・さけるチーズ …2本 (50g)
・オリーブオイル 大さじ1	・豚バラ肉 …4枚 (約100g)
・にんにくチューブ …… 1cm	・塩こしょう …………… 適量
・コンソメ (固形) … 1/2個	・油 …………… 大さじ1
・塩 …………… 少々	・竹ぐし …………… 4本
・砂糖 …………… 小さじ1	

●作り方

- ① トマトソースをつくる。トマトに十文字の切れ目を入れ、湯むきをする。トマトを小さく刻み、強火で形がなくなるまで煮込み、調味料を入れてとろみがつくまで煮込む。
- ② さけるチーズを半分の長さに切り竹ぐしをさす。
- ③ ラップにご飯をのせて四角く広げ、中心に②のチーズをのせてご飯をしっかり巻く。

- ④ 豚バラ肉に塩こしょうをふり、③に巻きつける。
- ⑤ フライパンに油を入れ、肉に焼き色がつくまでしっかり焼く。
- ⑥ 皿に盛りつけ、トマトソースを添える。トマトソースをからめて食べる。



肉巻きご飯にトマトソースをからめることでさっぱり食べられます。

『特派員 報告』 大募集

毎月、県内各地の情報を皆さまから提供いただき、共有していきたいと思ひます。ちょっとした出来事、地域にあるお店の紹介などなど情報提供をお願いします。

連絡先

E-mail : hiro-watanabe@fukuraku.or.jp  
F A X : 0243-33-1103



『ほっとMilk』 投稿募集について

1. テーマは自由 (ほっと(∩o∩)する話題がいいですね)
  - ◎文章だけでも結構です。
  - ◎写真があると最高です。
2. 受付 (常時受け付けしています)
  - メール・FAX・事務所経由・直接持参、何でもOKです。
  - E-mail : hiro-watanabe@fukuraku.or.jp
  - F A X : 0243-33-1103